タウンタウン小麦

特定非営利活動法人
発　行　くまがや小麦の会
発行責任者　日向美津江
ホームページアドレス
http://www.kumagayakomuginokai.jp/
くまがや小麦の会　検索

認定 NPO 法人
くまがや小麦の会
since 2006
事務局　〒360-0801　埼玉県熊谷市中奈良1797-1
TEL. 048-521-7801

Interview シリーズ No. 29

ひと彩々

令和5年度（2023）秋の叙勲では、熊谷市を拠点に、地域貢献・産業振興などの分野で活躍する功労者の受章が注目を集めた。その中で、今回の人物伝では、納税功労及び生活衛生功労の分野で受章した3名を紹介し、その栄誉に敬意を表したい。

旭日中綬章（納税功労）
飯島 賢一さん（72）

1951年7月生まれ。税理士、中小企業診断士など多くの資格と知見に基づき、地域産業の進展に寄与したことが評価されたほか、全国納税貯蓄組合連合会会長など全国組織の要職を歴任した。

熊谷商工会議所副会頭を務め、税理士法人IKG代表社員、株式会社飯島綜研代表取締役として、税制を踏まえた地域経済の活性化に向けて、ビジネスコンサルタントをはじめとするアドバイザリー業務に尽力している。

飯島さんは「受章に際して、義を先にして、利を後にする者は栄えることを意味する『先義後利』という言葉を思い起こしている。現代日本に最も必要な思想とともに、広く市民のために精進していきたい」と語る。温故知新と先見の明を兼ね備えた実業家としての一面もあり、郷土熊谷への想いも熱い。

旭日双光章（納税功労）
中澤 実さん（76）

1947年6月生まれ。埼玉県法人会連合会副会長、熊谷商工会議所副会頭を歴任。公益社団法人熊谷法人会会長として、地域経済の活性化に寄与し、税の啓発や租税教育にも積極的に取り組み、地域産業界に大きく貢献したことが評価された。

また、江戸時代前期発祥の株式会社中沢トータリア社長・会長としてテリアコーディネートの業務拡大に尽力するとともに、熊谷商工会議所、副会頭としても優れた指導力と資性温厚な人柄は、多くの信頼を得ている。商工業の振興及び租税に関する貢献は、産官連携のモデルとして注目を集めている。

中澤さんは「今回の受章は、熊谷地域における税を生かした産業振興が評価されたものと思っている。経営努力の目的は会社だけでなく、社会に還元する必要がある。今後も継続的に進めていきたい」と喜びを表現している。

旭日双光章（生活衛生功労）
長谷川 隆春さん（72）

1951年2月生まれ。鷹の羽興業株式会社代表取締役などを歴任したほか、2004年からの埼玉県生活衛生協同組合映画協会の理事長職、そして、2017年から（公財）埼玉県生活衛生営業指導センターの理事長職に就任するなど活動は多岐に渡る。

同氏の由来は、「シバタサーカス」という新潟県新発田市のサーカス団にある。初代団長の曽孫が現当主であり、興業事業の関連から、現在の映画館経営へと結び付いている。

映画事業を通じて、官民の幅広い関係者が参画する官民連携の基盤を構築したほか、今回の受章理由の一つには、生活衛生協同組合での取り組みが挙げられる。国民の生活に不可欠なサービスや商品を提供する上で、営業の経営の健全化、衛生水準の維持向上等を図ることにより、映画文化の発展と生活の安定に寄与したことが評価された。

長谷川さんは、「叙勲の栄誉に感謝申し上げたい。市民衛生や福祉のための関連事業を進める中で、郷土の文化産業の可能性を常に意識してきた。これからも地域の人々が満足し喜び合える機会の提供を次世代に伝えていきたい」と意気込んでいる。（文・構成　Y）

麦笛

日向美津江

追悼「小布施町前町長　市村良三氏」

◆栗と北斎と花の町　小布施町の町長を平成17年1月より令和3年1月4期納められた市村良三氏が6月14日に亡くなられた。75歳だった。北部地域振興センター（熊谷市）の企画で、熊谷の立正大学に小布施町町長の市村良三氏をお招きして「協働と交流の街づくり」の講演会が開催された。くまがや小麦の会は、開催地熊谷の街づくりの事例として発表の場を頂いた。このご縁で市村良三氏に目にかかれ、街づくりに懸ける民間主導の姿勢に深く感銘した。

◆市村良三氏は県立長野高等高校を経て、1973年慶應義塾大学法学部を卒業、ソニー株式会社入社　1979年叔父の市村郁夫氏が小布施町町長在任中死亡。1980年市村郁夫氏の息子、市村次男氏と共に和菓子店「小布施堂」枡「市村酒造」を引継ぎ、1982年より町並み修景事業に取り組まれていった。市村良三氏は晩年の葛飾北斎を4度も小布施に招いた小布施堂　12代目の高井鴻山（市村三九郎）の子孫にあたる。叔父の市村郁夫氏（元小布施町町長　16代目小布施堂社長）は北斎の残した作品を収蔵する北斎館を1976年に建造、小布施の観光拠点となった。1982年高井鴻山記念館の建設により北斎館から高井鴻山記念館に抜ける道は小布施の修景事業の美しい道である。市村良三氏が社長に就任し、民間の町づくり会社「ア・ラ小布施」を設立。資本金2600万円の第3セクターながら町の出資率は4％であくまで民間主導の町づくりを目指した。人口1万2000人の小布施町に年間観光客110万人が訪れている。「観光カリスマ百選」選考委員会は長野県の観光カリスマに市村良三氏を選定した。

◆2014年くまがや小麦の会は市村小布施町町長を43名バスツアーで訪問する機会を得た。訪問時の市村町長のご対応が忘れられない。小布施町には個人の庭を見学できる「通り抜け」という町を挙げての企画がある。町長宅を「通り抜け」でお邪魔した折　庭にビールサーバーをご用意下さり歓迎してくださった。今でも小麦の会の語り草である。小布施堂で頂いたお昼のデザートに、持手が赤の漆で塗られた銀のスプーンが添えられていた。「良いですね」と申し上げると、市村町長は「この漆、私が塗りました。」とのお答えだった。観光客の心をときめかす観光の原点を感じた。

小麦の会 活動報告

10/7(土) 第18回おおさとまつり 熊谷市大里総合グラウンド

令和2年から中止になっていたイベントが復活しました。強風で寒い日になりましたが4年ぶり開催でお客様も多く、おかげさまでパンは完売しました。他店舗で買い物したり、ガラポン抽選で「えんむちゃんエコバッグ」が当たるなど、販売以外でも楽しめました。(R)

10/28(土) ニャオざねまつり2023 コミュニティひろば

天候に恵まれ、午後から一気に大賑わいの会場になりました。当会ブースはステージ正面で、歌やダンスを楽しみながら販売できました。ニャオざねまつりは市民活動団体のお祭りなので、久しぶりに他団体の皆さまと触れ合えた貴重な時間になりました。(R)

11/18(土) 第19回熊谷市産業祭 熊谷スポーツ文化公園

昨年に引き続き1日のみ開催で、開始時間前から並ぶ産業祭ファンのお客様も多くみられました。当会ブースでもたくさんお買い上げいただきパンは完売。この日から発売したシュトーレンも好評でした。食事系のお店は行列が売りきれも多く、自分たちの食事もままならない程の賑わいでした。(R)

熊谷の道端から ～ゆるゆる散歩雑記帳～

刀水橋から拝む初日の出

国道407号が利根川を渡る刀水橋。今年は熊谷市・太田市・大泉町の合同で刀水橋花火大会が開催され、橋付近の河川敷から上がる花火が秋の夜空を彩った。

淡いピンクのアーチ橋は、絶好の初日の出スポットでもある。熊谷市の初日の出時刻は6時53分。その時間には歩道が賑わい、埼玉の人も群馬からの人も一様に東を向いて、川面を眩しく照らしながら昇る朝日に新年の誓いを託す。大河で隔てられた2つの県を結ぶ橋で、過ぎた年から新しい年へと想いを橋渡しして、人々は北へ南へと帰っていく。(N・T)

文化の薫り熊谷偉人伝 ④

成田氏と館跡

熊谷市指定史跡「成田氏館跡」

成田氏は、現在の熊谷市上之に館を構えた御家人・武士として知られている。成田氏の出自について、幡羅郡領説、藤原氏説、私市氏説、横山党説などがある。江戸時代に編纂された「成田氏系図」には藤原氏説が示され、上之に定着した助高が、成田太夫と称し、成田氏の始祖とされている。その館は、泰蔵院の西側に位置し、「田を成らす」などの意から姓を名乗ったと考えられる。定着から約400年経過した延徳3年（1491）、親泰が忍大杉を攻め滅ぼし、本拠地を忍城（現在の行田市）に移したとされる。戦国時代末期には当主の成田氏長のほか、石田三成率いる豊臣勢と戦った長親の活躍があった。現代に至り映画「のぼうの城」で描かれるなど話題を集めた。（Y）

あの町この店

pan prosper パン プロスパー

住所：行田市栄町 15-27　電話：048-514-1186
営業時間：10時～18時　定休日：月曜日、火曜日
https://instagram.com/panprosper3

オーナー　中島栄二さん

～栄町で栄えるお店に～

2020年にオープンしたとても素敵なベーカリー。プロスパーという店名の由来をお聞きしたところ、prosperは栄えるという意味があり、お店が繁盛するようにと、お店の場所が行田市栄町、そして店主の栄二さんのお名前にかけて決めたそうです。物作りが好きで職人を目指し、飲食店やパン屋さんで20年近く修行、地元の行田市栄町にご自分のお店を開店しました。

～店内に並ぶきれいなパン～

お店のドアを開けるときれいで美味しそうなパンが目の前にずらりと並んでいます。果物がキレイに乗ったデニッシュ類、カレーパンはお馴染みのカレーパンに加えキーマカレー、バターチキンカレーなど3種類、あんぱんも何種類かあり胡麻の餡子がたっぷり入ったごまあんぱんは絶品です。フランスパンはバケットや、胡桃やイチヂクが入ったもの、山椒の香りを纏ったチーズの、山椒の香りを纏ったチーズ種類もの具材と共に作られ、見ているだけでも楽しくなりますサンドイッチやたまごサンドなどのおかずパンも豊富に並んでいます。得意なパンはフランスパンで、お客様に評判で店のウリは湯だね食パンとのこと。パン作りは材料がシンプルなだけにそれをどう生かすかを大切に心がけているそうです。

～週に一度はパンを食べて欲しい～

今後の目標を伺ったところ、もっとパンの種類を増やすこと、そして皆さまにもっとパンを食べて頂きたい、週に一度でもパンを、今後は焼き菓子にも挑戦していきたいですと語っていました。早朝4時半から夜10時までパン作りに励み、閉店間際にいらして下さったお客様にもパンを買っていただけるよう心がけているそうです。皆さんも素敵なパン屋さんプロスパーへ心踊らせに行ってみてはいかがでしょうか。（K）

活動予定

1月　社会福祉法人つゆくさ わーくほーむ「成人を祝う会」訪問
出張バウンドケーキ 実演試食

4月　第18回 友山まつり　根岸家長屋門

■ 会員募集
賛助会員年会費 10,000円　一般会員年会費 一口1,000円
お申込み：TEL 048-521-7801　FAX 048-521-7900

次号のお届けは 2024年 4月 の予定です。
編集室　TEL 048-521-7801　FAX 048-521-7900

タウンタウン小麦35号の訂正とお詫び

・1面　氏名の誤り　大沼あやか選手　誤り
　　大沼歩加（おおぬまあゆか）選手　に訂正
・2面　参議院議員　森田俊和　誤り
　　衆議院議員　森田俊和　に訂正

2ケ所の大きな誤りを掲載してしまい誠に申し訳なく、心よりお詫び申し上げます。誤り発覚直後にお詫びに伺い、お許しを頂く事が出来ました。
気を引き締めて編集に当らせて頂きます。誠に申し訳ございませんでした。